

クラブ会長・クラブ幹事殿

謹啓 ロータリー年度も最終コーナーに入りました。5月は特別月間を設けられていません。貴クラブ様が特に最後に力を入れたい月間にしてください。5月21日からアメリカ、ニューオリンズで国際大会が開催されます。

RIは、クラブとロータリアンが、その月間中の奉仕活動の重点を、その特定部門(分野)に置くことを要請しています。

8月 会員増強および拡大月間

9月 新世代のための月間

10月 職業奉仕月間

10月 米山月間(日本のロータリー特有の月間)

11月 ロータリー財団月間

12月 家族月間

1月 ロータリー理解推進月間

2月 世界理解月間

3月 識字率向上月間

4月 雑誌月間

6月 ロータリー親睦活動月間

なお上記月間のほか、

「世界インターアクト週間」(11月5日を含む1週間)

「追悼記念週間」(1月27日を含む1週間)

「世界理解と平和の日」(2月23日)

「世界理解と平和週間」(2月23日から3月1日)

「世界ローターアクト週間」(3月13日を含む1週間)

があります。

<ロータリーの特別月間>クラブだけでなく、ロータリアン一人ひとりがロータリーの活動に参加するよう強調するため、国際ロータリー(RI)理事会が指定した月間のことです。

さて、本年度も残すところ2ヶ月となりました。

皆様方のおかげで、何とか年度の8合目を上りつつあります。

4月14日にガバナーエレクトの立場で自ら辞任届けを提出した林寛吉氏の心境を原稿でお寄せいただきましたので、了解を得て掲載させていただきました。月信のガバナーメッセージと合わせてお読み下されば幸甚に存じます。

クラブ会長・クラブ幹事殿には最終コーナーでのご活躍を心より祈念しております。

あと少し、ともに頑張りましょう。21日から国際大会に参加してまいります。ご参加の方には現地でお目にかかりましょう。

国際ロータリー第2640地区
ガバナー 米田真理子

2011年5月1日

国際ロータリー第2640地区
ガバナーエレクト辞任の報告

私事、林寛吉は、平成23年4月14日、国際ロータリー第2640地区、ガバナーエレクトを辞任いたしました。和歌山北ロータリークラブを始めとして、地区内ロータリアンの皆様、そして、御指導ご鞭撻を頂いた、多くの皆様方には多大なご迷惑をおかけしました事を心からお詫び申し上げます。このことは偏に、私自身の身から出た錯でございます。申し訳ない気持ちでいっぱいではありますが、自らの意思で、国際ロータリー・日本事務局へ赴き、辞任届を提出して参りました。

このことに関しましては、皆様のご批判、叱責など。いかなる責めをも負う覚悟で決心した次第であります。

正直申しまして、この時期に、今更と、悩んだ事は事実であります。「ここで降りる訳にはいかない、ここは突き進むしか道はない」と覚悟も致しました。しかし、ガバナー年度が近づくとつれ、皆様もご承知の通り、地区内に湧き上がる非難と中傷が家族にまで及ぶことになり、次第にガバナーエレクトとしての気力が失せていったのも仕方のない事実でした。最終的に辞任を決断しましたのは、私を支え続けてくれた家族の愛情でした。

「お父さんはもう苦しまんでええ、辞めた方がええ、辞めて地区をもっと良くしてもらったらええ、、、、」この言葉が私の背中を押してくれたことは事実であります。今更ですが、「家族」という言葉の重さを実感した次第です。

今にして思えば、ガバナーにノミネートされた時から、自分の意志で意見を言わせて頂いたことは一度もないことに気が付きました。私はこの月信が出版される頃には、ロータリーに籍はないかも知れませんが、ここで皆様にお願ひがあります。

二度と私のような者をガバナーに選ぶような事をしないで頂きたいと思ひます。

もっと、公正な手段で選ぶ仕組みを作って頂きたいと思ひます。地区内には、素晴らしい、リーダーシップを備えたロータリアンは多くおられる筈です。

米田眞理子ガバナーにもお願ひしたいことがあります。あと2か月少々の任務でしょうが、次の世代に続く、透明性のある、争いのない、楽しい地区に育てて頂きたいと思ひます。最後になりますが、「家族」と「地区改革」の為に私は辞任の決心をいたしました。

何卒、ご理解頂けますようお願い申し上げます。

ロータリアンとしての皆様方の益々の御活躍を御祈念いたします。

まとまりませんが、これにて失礼します。本当にありがとうございました。

2011年 4月 14日

林 寛吉

林 寛吉